

相談受付・支援サイト

※詳細は各サイトをご確認ください。
※各種相談は事前申し込みが必要です。

宮城県内中小企業のみなさまへ

デジタル化・DX関連支援制度のご紹介

Open Innovationみやぎ

公式サイト <https://ictdb.pref.miyagi.jp/>

- 今回ご紹介した制度を含め各種情報を随時掲載予定
- キーワードや条件で県内IT企業を検索可能
- 支援施策紹介動画も掲載中

探すつながる みやぎICTポータルサイト
OPEN INNOVATION みやぎ



みらデジ

公式サイト <https://www.miradigi.go.jp/>

自社の経営課題の把握や専門家ヘリモート相談できるポータルサイト

- みらデジ経営チェック 5項目の設問に回答すると会社の課題やデジタル化進捗状況などが「見える化」
- みらデジリモート相談 専門家が無料で経営課題をヒアリング、支援施策、支援機関の紹介などを実施



ミラサポPlus

公式サイト <https://mirasapo-plus.go.jp/faq/>

各種支援情報を掲載

- 事例を検索できる「事例ナビ」
- 支援機関からの補助金活用事例紹介「支援機関とともに」
- 経営が見える化「ローカルベンチマーク」(会員限定)
- 各種経営相談窓口紹介



IT経営サポートセンター(中小機構)

公式サイト <https://it-sodan.smrj.go.jp/>

IT活用や導入について気軽に相談できる無料オンライン面談サービス

- 課題が具体化していない場合はITの専門家と話すことで問題点等を整理
- 「IT戦略ナビ」を活用し、課題を「見える化」
- 具体的なIT戦略の方針やツールについてアドバイス

IT経営サポートセンター

IT化には取り組みたいが具体的などうしたらよいか分からない
「もやもや」型

自社のIT化に関して相談したい課題がはっきりしている
「ハッキリ」型

どちらのタイプでもご相談可能

中小企業の経営支援に取り組む金融機関や
商工会・商工会議所など、支援機関の皆様も利用可能

オーエン(仙台市産業振興事業団)

公式サイト <https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/sales/002.html>



経営課題の解決や新規事業への挑戦に向けたIT導入・利活用について、課題の整理から具体的な解決方法の模索、検討まで専門家が継続して無料サポート(対面またはオンライン)

- 新規顧客開拓のため、ホームページをリニューアルしたい
- 環境の変化に合わせて、ITを活用したビジネスモデルに転換したい
- 生産管理の方法やツールを見直し業務の効率化を図りたい

宮城県よろず支援拠点(宮城県商工会連合会)

公式サイト <https://yorozu-miyagi.go.jp/>

- 経営相談を無料で受付(対面またはオンライン)
- 販売促進・WEB活用・デザイン・飲食関連・人材採用・資金繰りに強み
- コーディネーター(専門家)が継続的にサポート
- 経営・ビジネスに役立つセミナーも開催

宮城県よろず支援拠点

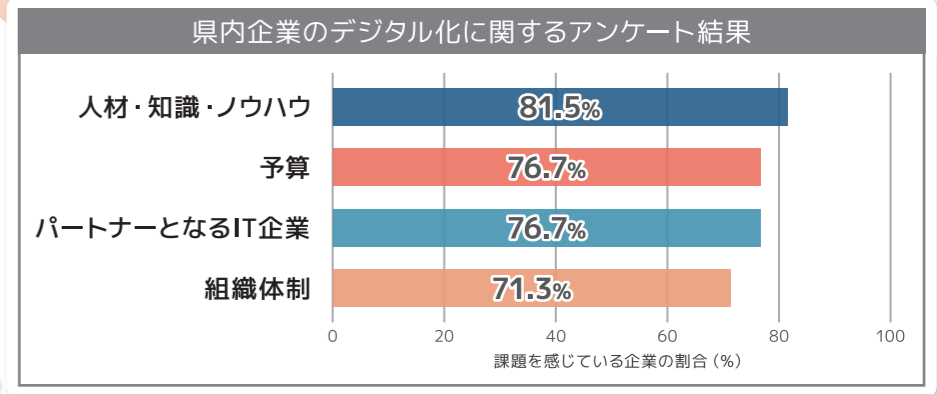


事務作業の負担を減らしたい

ビジネスを強化したい

業務が属人化している

自社の課題をデジタル化で解決したい、でも…



様々なお悩みに対し、各種支援をご紹介します



「デジタル化の

進め方が分からない、予算がない」



会社の課題整理、IT導入計画作成を専門家(経営・IT)が支援
導入経費も補助する制度があります。

※掲載している事業予定は変更となる可能性があります。R6年度の事業内容は事業HPを随時ご確認ください。

宮城県中小企業等デジタル化支援事業

宮城県中小企業支援室



公式サイト <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/chukisi/r6digital-shien.html>

メニュー その1 デジタル化相談

デジタル化について話を聞いてみたい

プロのアドバイザーがあなたの会社を訪問して、デジタル化の説明や助言、経営課題の整理、導入したデジタルツールの活用方法についてアドバイスします

1回まで無料

メニュー その2 デジタル化導入支援(アドバイザー派遣+補助金)

デジタル化に取り組みたい

STEP1 アドバイザーと事業計画策定

プロのアドバイザーがあなたの会社を訪問して、具体的なデジタル化の事業計画についてアドバイスします

最大5回まで無料

STEP2 補助金を申請・活用

デジタル化にかかる費用の一部を県が補助します

補助率 **1/2 以内**

補助限度額 上限 **250万円**
下限 **50万円**

活用事例

事業概要 会計処理、給与処理、在庫管理のシステムを導入して効率化

総事業費 100万円(補助金額50万円)

導入経費 ・会計ソフト購入・給与ソフト購入
・在庫管理システム導入
・管理用パソコン購入
・セットアップ経費

事業概要 工数管理、プロジェクト管理システムを導入するとともに、管理用機器、情報共有機器を購入し、工数管理業務を効率化

総事業費 370万円(補助金額185万円)

導入経費 ・クラウド型工数管理システム導入
・管理用パソコン購入
・管理用タブレット購入
・情報共有電子黒板経費



利用企業の声

負担額以上の効果があったと思います。アドバイザーが的確にアドバイスをくれ、非常にわかりやすく、納得しながら計画を立てられました。

アドバイザーが目的を踏まえ、アドバイスだけでなく提案もしてくれたため、非常に役に立つ制度でした。

デジタル化を目的とするのではなく、業務改善を考えた先にデジタル化があるということを実感しました。

IT導入補助金2024

経営課題を解決するためのITツール導入を支援します。各社の目的に合致する枠に申請が可能です。

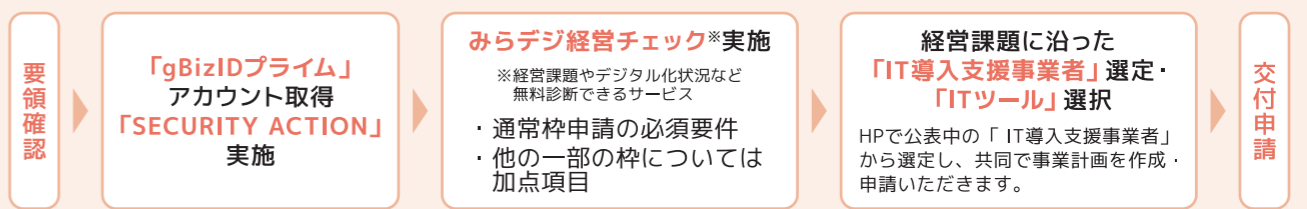


公式サイト
<https://it-shien.smrj.go.jp/>

	対象経費	補助率・額	申請締切日
通常枠	販売・会計・人事などの業務プロセスへITを導入する際のソフトウェア購入・利用、導入・保守サポート等に係る費用	補助率: 1/2以内 補助額: 5~450万円* ※IT導入する業務プロセス数による	2次募集:4/15 3次募集:5/20
セキュリティ対策推進枠	「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」掲載サービスの利用料(最大2年分)	補助率: 1/2以内 補助額: 5~100万円	2次募集:4/15 3次募集:5/20

要件の詳細は公式HPをご確認ください。上記のほか「インボイス枠」「複数社連携IT導入枠」もあります。

申請の流れ



活用事例：建設業(電気設備・空調設備等の工事施工管理)

抱えていた経営課題	ITツールを活用し公共工事の積算精度向上	成果
公共工事の元請け受注の増加のために工事の積算精度を高めていく必要があった	ITツール導入後はスタッフの動機づけに注力 不明な点や積算のポイントはIT導入支援事業者のサポートセンターに積極的に質問し、ノウハウの習得に取り組む	入札参加件数が大幅に増加 1年で数件 → 3か月で5件 公共工事に対する社員の意識も向上

仙台市地域企業デジタル化サポート補助金

仙台市経済局中小企業支援課
TEL: 022-214-1003

<https://www.city.sendai.jp/kikakushien/dejitarukahojokin.html>



仙台市内の中小企業者が、専門家によるコンサルティングを受けながら、ITツール等を活用して非効率な業務のデジタル化やビジネスモデルの転換などを通じ、生産性向上・競争力強化を図る取り組みに補助金を支給します。

補助金額

補助率 **1/2 以内**
補助限度額 上限 **50万円**

対象経費(一例)

ソフトウェア導入費、クラウドサービス利用費、ハードウェア導入費、Webサイト構築・改修費など

申請の流れ

- 1 公益財団法人仙台市産業振興事業団に複数回の事前相談
- 2 申請書の提出
- 3 審査、結果通知
- 4 採択者向け説明会
- 5 交付決定通知
- 6 補助事業開始
- 7 専門家による伴走支援
- 8 事業完了、実績報告書の提出
- 9 補助金交付

活用事例

- ①建設業 人事労務、勤怠管理システムを導入し、紙を用いたアナログ業務をデジタル化
- ②運送業 デジタルタコメーターを導入し、ドライバーの勤態・労務・安全管理をデジタル化
- ③小売業 POSレジを導入し、インボイス対応と管理コストを削減
- ④教育業 自社HPの改修とコンテンツ作成により、HP滞在時間を延ばすとともにWeb申込を増加させる

「デジタル化を推進する 人がいない・体制ができてない」



自社のデジタル化を担う人材の育成・社内体制の構築
また、自社ビジネスの高度化・新規ビジネスの創出に向けた人材の育成
意欲的な企業間の交流等を支援する制度があります。

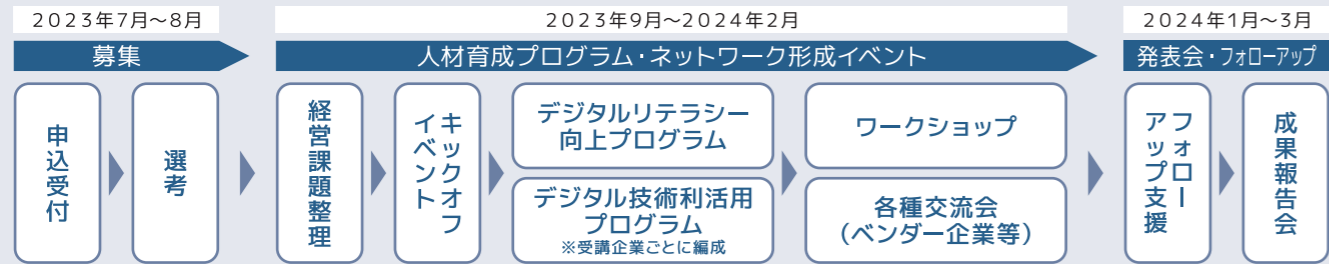
産業デジタル中核人材育成プログラム

宮城県産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2478

DXを推進する社内体制を構築したい企業向け
経営者及び部門担当者それぞれに向けた学習プログラムを受講いただきます。

- ・次年度以降のDX推進に向け、経営課題整理から具体的な解決策など取りまとめたDX推進プランの策定と実行を専門家が支援します。
- ・会社をまたいだ協力体制の形成に向け、プログラム参加企業およびパートナー企業の交流会を実施します。

参考：令和5年度実施概要



利用企業の声

専門家が伴走支援してくれたため、講義後もモチベーションが低下することなく、継続的にデジタル化に取り組みました。

講義中での「うちは特殊な業界だからデジタル化しない」という考えが危険だという指摘にハッとしました。

地域高度デジタル人材育成

宮城県産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2479

自ら顧客や魅力的で成長力のあるデジタルビジネスを創出する力を身に着けたい方向け
課外実習も含め実務に即した学習プログラムを実施します。

参考：令和5年度実施概要

受講対象	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	期待成果
ビジネス創出 人材育成				3時間×12回 +課外実習						実践的なビジネス感覚 事業創出の経験値
DX推進支援		3時間×6回 +課外実習					3時間×6回 +課外実習			実務目線のDX経験値 (自社DX推進/客先向け DX推進支援)
AI ソリューション					3時間×6回 +課外実習					ノーコード/クラウドサービス による学習済みモデルの 利用を前提としたAI活用

利用企業の声

数あるフレームワークや考え方の定義を学んだところで、それだけではビジネスには活かせず、如何に実践で効果を発揮できるかが重要であるということ学んだ

成果発表や普段の研修で実際の経営者やそれに近い経験を持つ方からの意見がいただけたので、ただの知識の学習ではなく、実際のノウハウからの知識を得ることができた

マナビDXクエスト

マナビDXクエスト
MANABI-DELUXE-QUEST

公式サイト <https://dxq.manabi-dx.ipa.go.jp/>



DXの担い手として持つべきスキルを習得したい社会人・学生向け(デジタル初心者/経験者問わず参加できます)

企業におけるDX推進のプロセスの学習と志を同じくする幅広いデジタル人材とのつながりの構築に向けた

- ①企業データに基づく実践的なケーススタディ教育プログラム(PBL)
- ②地域の中小企業との協働による、デジタル技術を活用した課題解決型プログラムを実施します。

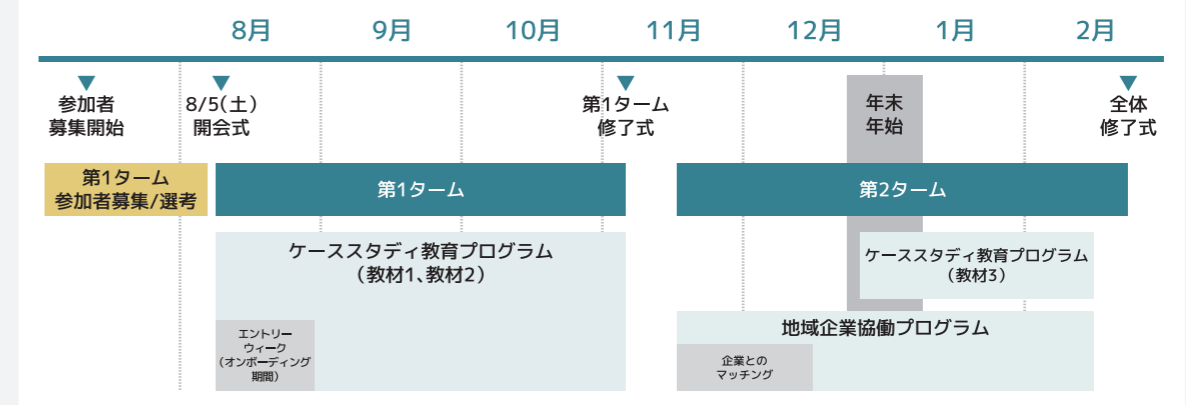
①ケーススタディ教育プログラム(PBL)

- ・DXを推進し組織を変革する一連のプロセスを一気通貫で学習
- ・3タイプの教材からDXを疑似体験(AIによる需要予測やデータ分析による収益改善等)
- ・受講生が情報交換して学び合い・教え合いながら、実際の企業課題をテーマに課題解決を体験
- ・全プログラムがオンライン、個人で取り組めるため、都合の良い時間で受講可能



②地域企業協働プログラム ※①ケーススタディ教育プログラム(PBL)を修了した方

実施内容	企業と連携し、企業のDX取組み状況に応じた約2ヶ月間のゴール設定、プロジェクト運営、成果報告を行う
学べること	実際の現場で経営陣・担当者とDXを推進する実体験を通じて、PBLで学んだDX推進・変革を現場で推進する際の難しさやポイントの理解等、机上では得られない学びが可能



※2023年度のスケジュール(2024年度のスケジュールは公式HPにてご確認ください。)

利用企業の声

「実践型の講座で必死になった分、得るものも大きい」
普通に講座を受けると聞いておしまいののですが、実践型だと何か生み出さないとイケないので、一生懸命考えました

「意欲的な参加者との交流で、社員の考え方が大きく変化」
メンバーが非常に優秀だったため、うちの社員にとっても、考え方やコミュニケーション方法など、非常に良い気づきを多く得ることができました

「一番の学びは人を巻き込むためのロジック作り」
きちんと課題設定をして、共感を得るための方法を考えるようになりました

修了者のインタビューは
公式HPにて公開しております



学習支援は次ページにも掲載しております

ハンズオン支援事業 (IT)

中小企業基盤整備機構東北本部

https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/hands-on/



ITを活用することで経営課題の解決、経営改革を目指す中小企業向け
専門家

IT企画・導入支援 (IT-A型)

専門家を10か月程度 (20回程度) 派遣し、IT活用・IT導入への具体的なアドバイスや企業内のIT人材の育成をサポート

IT化構想策定支援 (IT-B型)

専門家を4か月程度 (8回程度) 派遣し、自社に最適なIT活用・IT導入に向けた構想・計画策定をサポート

費用

17,500円 (専門家1人、1日あたり。消費税込)

派遣専門家

CIO経験者、中小企業診断士、ITコーディネーターなど中小企業のIT経営に関して十分な知見と実績がある専門家

支援内容 (例)

- 企画・計画フェーズ** 経営戦略や方針の確認・立案、経営課題の整理、業務改善課題の抽出、IT化の方針・計画立案、システム化の構想
- 設計・開発フェーズ** 投資予算の検討、ベンダー・パッケージ選定、システムの設計・開発業務の仕組みの確立
- 運用・保守フェーズ** システム移行・稼働のフォローアップ、利用者への教育、活用定着フォロー、導入効果の検証、改善項目の抽出

募集期間・スケジュールなど

中小機構東北本部にご相談ください。経営者等へのヒアリング調査を実施し、支援計画の策定及び機構内での審査の上、支援を実施します。ヒアリングを実施した上で、他の最適な支援メニューをご提案する場合があります。

利用企業の声

ハンズオン支援を活用し、システム導入に向けて全員参加型のプロジェクトを推進したことで、新たな発想と変革で期待以上の成果を出すことができた。
今までになかった視点で自社の問題を捉え、PDCAサイクルを実践的に学ぶことができた。

異業種連携促進支援事業

宮城県産業デジタル推進課
TEL: 022-211-2479

既存事業高度化や新事業創出を目指す方々の学び・交流を目的とした各種イベントを開催、交流活発化に向けオンラインコミュニティを立ち上げます。

参考：令和5年度実施概要

	9	10	11	12	1	2	3
ローカルベンチマークセミナー	★						
ローカルDXスクール(6回シリーズ)		←→					
女性とともに学ぶWell-being勉強会(3回)					←→		
アイデアソン							★

SENDAI X-TECH Innovation Project

SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECT

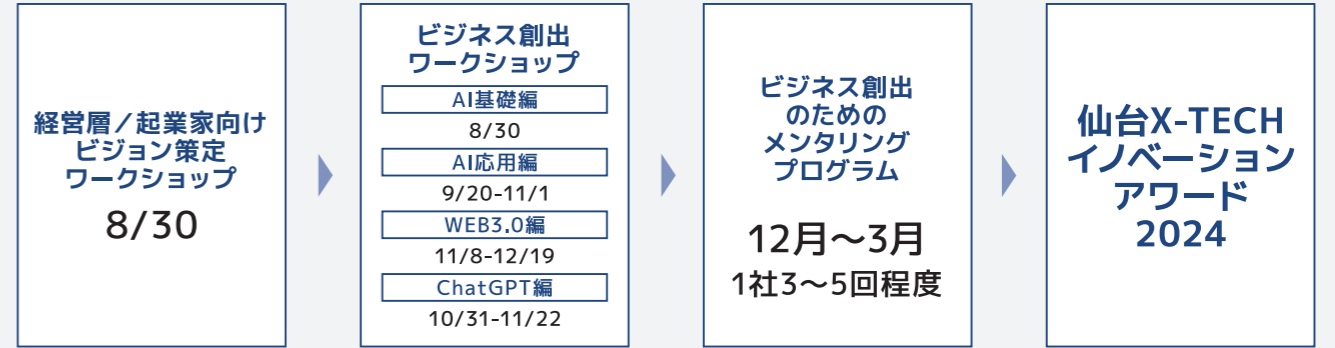


仙台市産業振興課成長産業係 https://www.city.sendai.jp/renkesuishin/jigyosha/kezai/sangaku/minkan/x-tech.html

高付加価値ビジネスの創出・変革を目指す地域企業の経営者や現場のビジネス担当者を対象として、AIやWEB3.0等の先端IT技術と様々な分野との融合【X-TECH】による新事業創出を目指すワークショップや伴走支援、関連資格の取得支援を実施します。

R6年度の情報は、仙台市HPより随時更新いたします。

SCHEDULE R5年度スケジュール



人材育成プログラム

G検定取得を目指す!「人工知能基礎」	9/27-11/11
E資格取得を目指す!「機械学習&ディープラーニング」	9/27-2/29
社会課題・ビジネス課題解決のための「データリテラシー」	9/27-11/24

参考：令和5年度実施概要

ワークショップ・メンタリング

AIやWEB3.0技術を活用して新ビジネス創出や既存事業の高度化を目指す「ビジネス創出ワークショップ」(全11回)や、企業の実情に応じて有識者が1対1で助言・伴走支援する「メンタリングプログラム」(1社あたり3～5回)を実施

人材育成支援

AI・データ活用関連のスキルや資格の取得を目指すeラーニングプログラム(8月～2月)や、初めてAI関連のアプローチを学ぶ啓発セミナー等(4回)を実施

仙台X-TECHイノベーションアワード2024

仙台・東北の企業・団体のAIやWEB3.0技術を用いた課題解決やビジネス高度化を行う取組みについて、そのソリューションやビジネスアイデアを募集し、コンテスト形式で審査員による審査を行います。

対象	AIやWEB3.0技術を用いたソリューションやビジネスプラン
表彰	大賞1件、優秀賞3件程度

アワード受賞事例

アワード2023最優秀賞
輝翠TECH株式会社「AIを活用した農業データソリューション」

東北大学発のアグロロボットスタートアップである輝翠TECHは、AIロボット技術を活用して農家の農場管理を支援するサービスを提供している。アワードでの発表内容は、データとAIを活用した農業の高付加価値化とコスト削減を実現するための農業データソリューション。

